

beyondコロナの
新しいステージへ
積極果敢



開かれた市政 × スピードと実行

we are fukushima city
KOHATA hiroschi

復興創生・広域的発展を牽引

住み続けたいまち

安全・安心

子育て・教育

産業振興

賑わい・文化

ゼロカーボン化
デジタル化

女性等活躍
共創

関係人口拡大

移住・定住拡大

関わりたいまち

人・まち・自然が奏でるハーモニー 未来協奏(共創)都市 ～世界にエールを送るまち ふくしま～

- ・市民が誇りをもって住み続けたい、よその人が関わってみたいと思うまち
- ・これを実現し、大震災からの復興創生を成し遂げ、「世界にエールを送るまち」に

基本理念(まちづくり全体を網羅する重要な5つの視点)

1. 福島らしさを生かした 新ステージの形成

自然や歴史、花や音楽等、
福島らしい特徴を生かす視点

2. 持続可能性の実現

地域としての持続可能性、
SDGsの要素や考え方を考
慮する視点

3. 多様性の尊重

人間尊重や一人ひとり、
様々な主体の多様性を尊重
する視点

4. 県都としての責務

「福島」の名を有する県都と
して県全体の発展、復興・
創生に貢献する視点

5. ポストコロナ時代を 見据えた社会づくり

ポストコロナ時代を見据え
た新たな発想による社会づ
くりの視点

福島らしさを生かした
ここにしかないまち



田園の豊かさ、人の好さを生かした
共生・共創のまち

福島市人口ビジョン（2020年度改訂）

人口目標：
2040年（令和22年）に **24万5千人**



①自然動態と②社会動態
の条件実現により
人口目標の達成を目指す

【シミュレーション条件①（自然動態）】

2040年（令和22年）に市民の希望出生率「**2.04**」

【シミュレーション条件②（社会動態）】

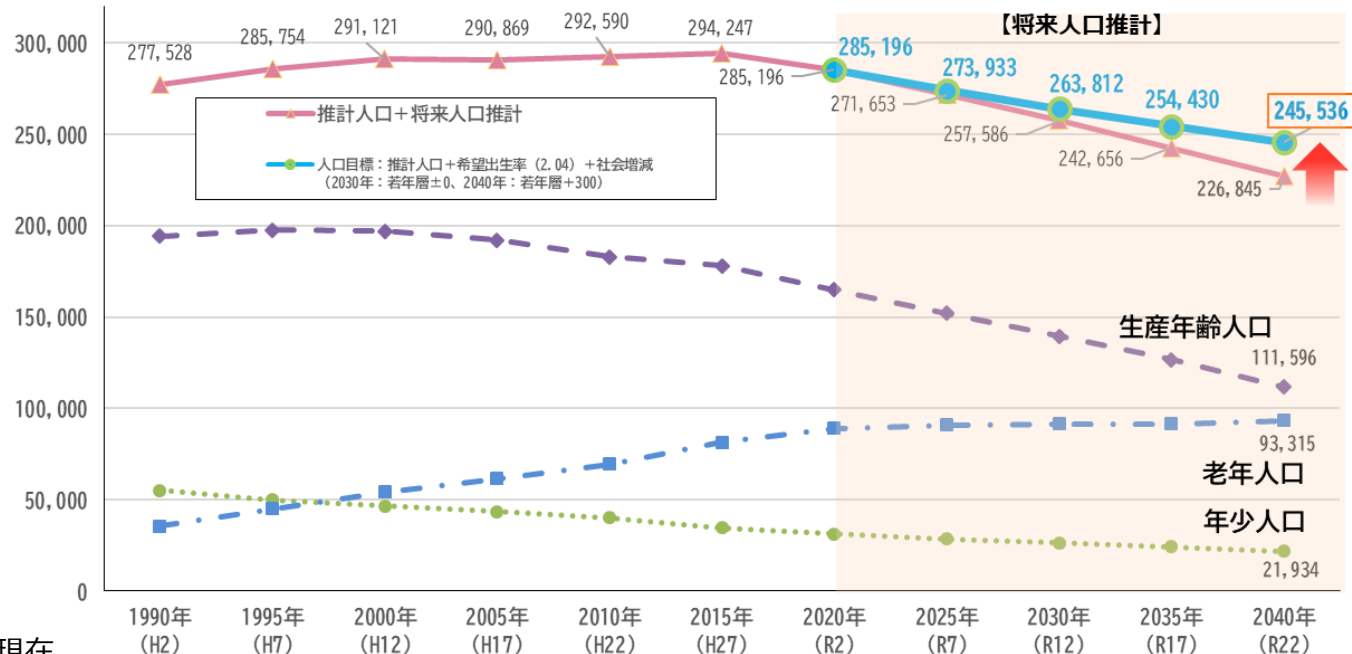
2030年（令和12年）に若年層の社会増減「**±0人**」

2040年（令和22年）に若年層の社会増減「**+300人**」

・生産年齢人口は1995年（H7）がピーク。

・年少人口は減少、2000年（H12）以降は老年人口が上回る。

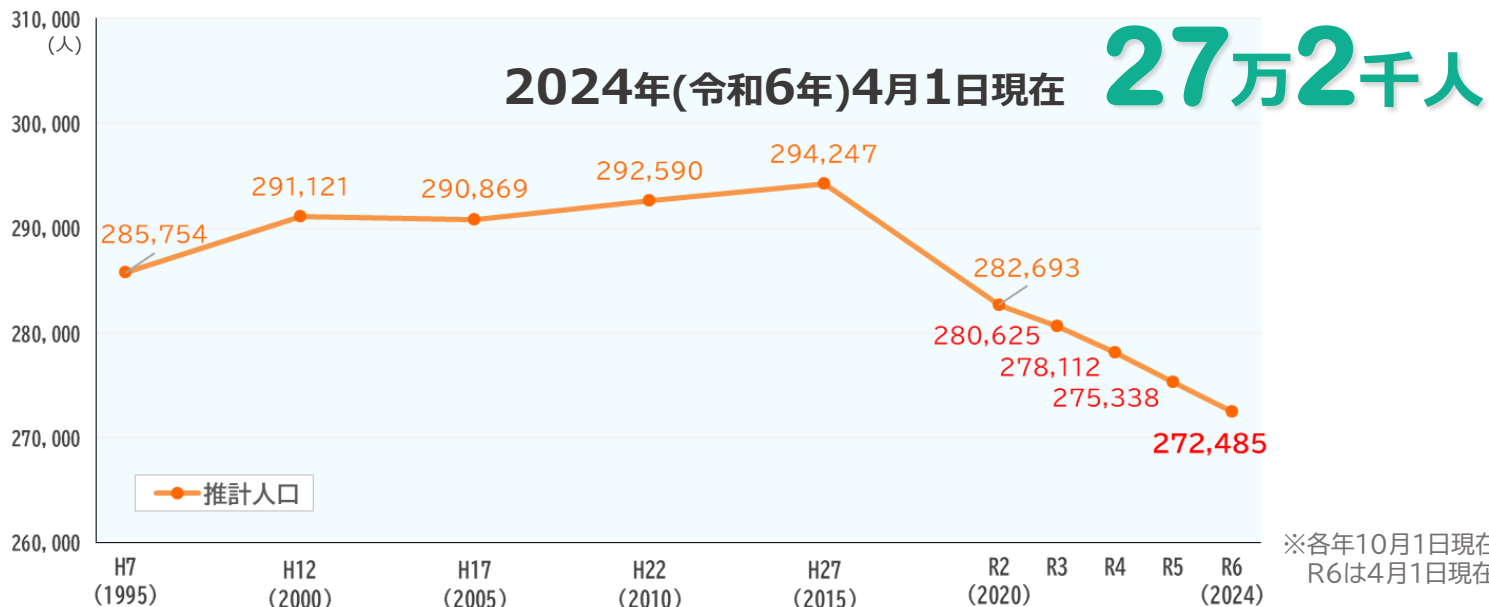
・出生数減、転出超過（社会減）の傾向続く。



※各年10月1日現在

福島市の人口

【人口推移】



- ▶ **社会動態**
 - ・ 転出転入ともに**青年層**を中心に**大都市圏**への**転出超過**が**コロナ後**増加傾向。
 - ・ 近年は減少幅が拡大傾向。
- ▶ **自然動態**
 - ・ R3以降、**出生数は過去最少**が続く。R5は前年比**9.7%減**。
 - ・ **こどもの数・割合**、**婚姻届出件数**も**減少傾向**。
- ▶ **男女比**
 - ・ 市全体では**女性人口**が多いが、**若年層**は**男性より女性**が少ない。
(20代は**6%程度**女性が少ない)

<年齢別社会動態>

区分	総数	年齢別									
		～9歳	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～	
増減	△464	△12	188	△668	△57	42	33	△15	34	△9	
転入	8,360	659	801	2,983	1,625	920	786	280	166	140	
転出	8,824	671	613	3,651	1,682	878	753	295	132	149	

<出生数>



令和6年度当初予算の概要

一般会計当初予算

(対前年比 +30億円 +2.6%)

1,177

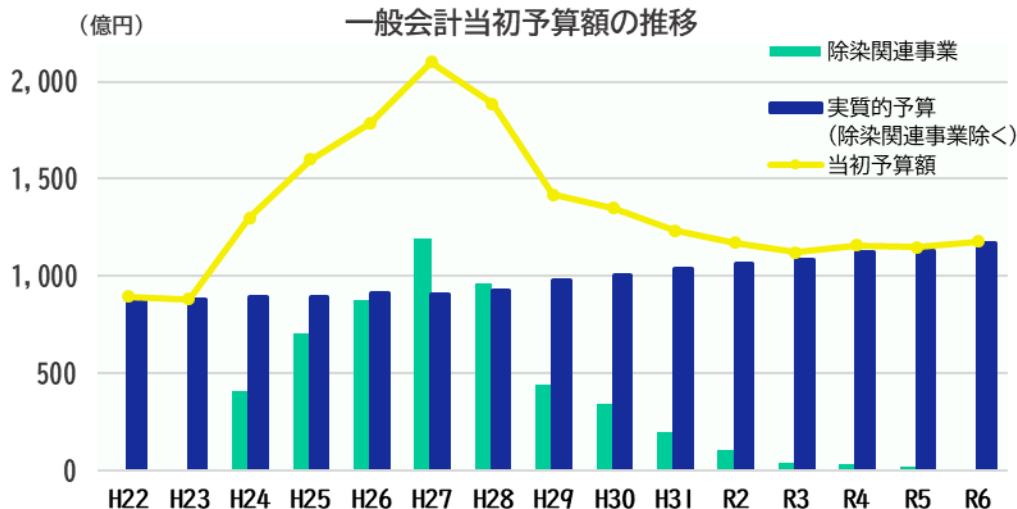
億円

過去最高額の積極型予算!

(除染関連事業費を除く)

除染関連事業費を除く 1,170億円 (対前年比 +43.1億円 +3.8%)

除染関連事業費 7億円 (対前年比 △13.1億円 △65.2%)



【財源の確保】

▶ 自主財源の確保

- ・ 市税の確保 396億円
- ・ ふるさと寄附金 14億円
- ・ 自治体ビジネス収入 55万円
- ・ ネーミングライツ収入 1,958万円
- ・ 広告料収入 1,249万円

▶ 事務事業見直しによる財源捻出

▶ 有利な市債の活用

▶ 基金の活用

- ・ 17基金 67億8,751万円

令和6年度当初予算の概要

主要プロジェクト

積極果敢に政策展開と変革を図り、上昇の流れを定着・強化し、beyondコロナの新しいステージが見えるよう、以下の8つを柱として、一層の創意工夫を講じながら市政を推進します。

1

安全安心な
まちづくり

83億812万円

2

子育てと教育で
選ばれる
まちづくり

190億
1,545万円

3

高齢者や障がい者、
誰もが健康で元気に
暮らせるまちづくり

178億
6,408万円

4

将来にわたり
持続可能な
産業の振興

24億8,341万円

5

賑わいと
文化・スポーツの
振興

97億7,126万円

6

デジタル都市の
形成と地域経営
のリノベーション

20億426万円

7

ゼロカーボンの
推進

18億7,045万円

8

移住・定住の促進、
女性活躍社会の
形成

2億1,756万円

1 安全安心なまちづくり

(1) 災害に強い防災都市の形成

度重なる災害経験や他災害の**教訓を生かし**、社会インフラ整備等の**ハード事業**と創意工夫した**ソフト事業**、**多様な連携**で、定住の基盤となる災害に強い**防災都市の形成**を目指します。

① 災害対策の強化

I 地震に強いまちづくり ～能登半島地震を受け対策強化

- ・**住まいの耐震化促進**（耐震診断・改修の補助。3月から前倒しで受付。）
- ・ブロック塀等撤去支援 ・水道老朽管更新（R7末基幹管路耐震適合率100%）
- ・**道路の改良、橋梁の耐震補強**（緊急対策として集中的に実施）



アンダーパス

II 水害対策パッケージ ～減災・水防対策、土地利用対策、治水対策、流域対策

- ・**災害対策オペレーションシステム運用**（R3.5）～情報の一元的な収集・表示
雨量・河川水位等の自動収集、GISを利用した被害情報、避難情報の発令判断支援・一括配信、**SNS情報自動収集システム**、河川水位予測システム(R5導入)、市独自雨量計(R5設置)
- ・**防災情報発信の多重化**（屋外スピーカー、戸別受信機）
- ・**ハイブリッドな浸水対策**
河川改修、河道掘削、祓川浸水対策、**農業施設防災減災対策**（水利組合等の改修を支援）、**市道アンダーパス排水設備更新**、**田んぼダム設置拡大**、雨水貯留施設、広域的な流域治水

III 熱中症対策

- ・**SNS注意喚起** ・**ふくしま涼み処**（27カ所、5月から前倒し開放）

IV 除雪力強化パッケージ ～「雪害」への総合的な対策強化

- ・**除雪車運行管理システムの導入**
- ・**除雪マニュアル策定**（市民共創で除雪体制強化）
- ・**アダプト制度**（地域除雪3団体と協定締結）
- ・**小型除雪機械購入補助**（受付を前倒し6月から開始）
- ・**市民への貸出用具の充実**



除雪アダプト制度

1 安全安心なまちづくり

(1) 災害に強い防災都市の形成

②防災体制の強化

- ▶ **災害復旧費の予算計上** (頻発する局地的豪雨等への機動性を高める)
- ▶ **防災IP無線機の導入** ▶ **受援体制の強化**
- ▶ **要援護者支援パッケージ** (避難行動要支援者名簿の更新、個別避難支援プラン策定、地区防災計画)
- ▶ **防災訓練の実効性確保** (直下型地震・土砂災害想定 of 総合訓練、夜間・真冬・広域等)
- ▶ **防災意識醸成、危機対応力向上**

ぼうさい体験パッケージ(防災運動会等を学校、地域、企業へ展開)、ふくしま防災体験フェア開催

- ▶ **災害時連携ふくしまタスクフォース** (災害協定事業所の横断的連携)
- ▶ **災害協定締結**

看護学校等のボランティア派遣(R6.3福祉避難所等の要配慮者支援)、町内会の指定避難所運営(R4)

- ▶ **災害応援** (**能登半島地震**: 応急給水、ふるさと納税代理受付等。 **台湾地震**: 募金)
- ▶ **多様な避難施設、分散避難**

避難所増設(警戒レベルに応じ**44か所**)、避難所混雑状況の配信

通い慣れた障がい福祉施設を避難所活用(**12法人21事業所と協定**)

妊産婦・医療的ケア児等の旅館・ホテル避難(17か所と避難者支援協定締結)

市内事業所店舗等の駐車場を一時避難場所活用(**28か所**)

ペット同伴避難所の充実(動物愛護ボランティア創設、県獣医師会協定 **全国初**)

多様な施設の活用(福島刑務所との協定、町内会と民間事業所の協定(福島トヨタ等))

③消防力の充実強化

- ▶ **消防本部・福島消防署の再整備** (市民会館用地へ移転。R10.4供用開始予定)
- ▶ **消防力適正配置調査** ▶ **ハイスパックドローン運用** (R5.7)
- ▶ **消防団女性消防隊等の処遇改善** ▶ **消防団水利デジタルマップ** (R6.2)



防災IP無線機

ペット同伴避難所



ハイスパックドローン (High-spec drone)



1 安全安心なまちづくり

(2) 生活環境の整備

市民が快適な生活を営み続けるための環境整備を行います。
仮置場の原状回復と返還を行い、健康管理・食品等の放射能測定等を実施します。

①生活環境の整備

- ▶あぶくまクリーンセンター再整備（R10供用開始予定 焼却熱エネルギー発電）
- ▶ごみ適正排出の推進
製品プラスチックのリサイクル実証実験、小型充電式電池の回収
- ▶ごみ集積所適正管理の推進
折りたたみ式ごみネットの設置支援を追加、ごみ散乱を防止
- ▶ムクドリ、カラス対策
音声再生装置等での街なかフン害対策
- ▶合併処理浄化槽設置・転換支援（市街化区域の補助額を上乗せして整備促進）
- ▶福島交通飯坂線 第4種踏切安全対策
- ▶通学路等の交通安全施設整備（歩道拡幅・交差点改良、道路標識・照明灯更新）
- ▶特殊詐欺の防止
- ▶犯罪被害者への支援（R6.3犯罪被害者等支援条例の制定、R5見舞金創設）



折りたたみ式ごみネット



第4種踏切安全対策

②放射線関連の対応

- ▶仮置場の原状回復と返還の推進
R5末37カ所返還、残り4カ所の返還へ向け作業
- ▶放射線からの安全安心確保
環境放射線量の測定、健康管理、給食まるごと検査、農産物・食品等放射能測定、放射線教育
- ▶原発処理水海洋放出による風評対策（本庁食堂で食べて応援「浜通りエールイベント」）

2 子育てと教育で選ばれるまちづくり

(1) 子育て支援の充実

子育ての**経済的支援**を充実させ、**多様な保育**の提供と**保育の質**の向上を図り、子どもファーストで「**子育てするなら福島市**」の実現を目指します。

① 子育てのための経済的支援

～結婚から子供が健やかに育つまでの間、切れ目ない経済的な支援を総合的かつ継続的に推進～

65億2,462万円

0. 結婚新生活

市独自

- 結婚新生活応援
 - ①住宅スタートアップ支援(所得制限なし)
 - ・初年度15万円)
 - ②家賃支援
 - ・2年間
 - ・最大年24万円
 - ③住宅取得支援
 - ・最大30万円

1. 妊娠～出産期

- 妊娠届時 5万円給付
- 市独自**
 - 妊婦健診15回無料
- 市独自**
 - 新生児聴覚検査無料
- 出生時 5万円給付
- 出産育児一時金 50万円給付

2. 乳幼児期

市独自

- 福島型給食
 - ・質の高い給食
 - ・給食費の1/3を支援

市独自

- 0～2歳児の保育料を国基準額から軽減

市独自

- 第2子の保育料1/2
第3子以降は無料
(所得制限・年齢基準なし)

- 幼児教育・保育の無償化

3. 小学校

市独自

- 拡** 福島型給食
 - ・質の高い給食
 - ・給食費の約4割を支援

市独自

- 拡** 放課後児童クラブの利用料を軽減
所得制限撤廃
 - ・第2子 2,000円
 - ・第3子以降 4,000円

4. 中学校

市独自

- 拡** 福島型給食
 - ・質の高い給食
 - ・給食費の約4割を支援

5. 高校

市独自

- 奨学資金支給制度
 - ・年5万円



福島型給食



市独自 国民健康保険税軽減(未就学児、18歳以下の第2子以降 均等割全額減免)

市独自 子どもの医療費18歳まで全額無料(窓口無償化)

児童手当 月額5,000円～15,000円

2 子育てと教育で選ばれるまちづくり

(1) 子育て支援の充実

②保育の質の向上

▶特色ある幼児教育・保育の推進

12施設。豊かな発想や感性を持った子どもたちの成長を応援

- ▶公立幼児教育・保育施設の再編整備（市内4区分し拠点施設整備。老朽施設の統廃合と民間移行など）
- ▶（仮称）もりあい認定こども園整備（地域のモデル的な幼児教育・保育の拠点。R8開園予定）

③多様な保育の提供

▶こども誰でも通園モデル

保育所等を利用していない子どもの定期的な預かりを市独自含め3施設で実施

- ▶休日保育（私立1施設に加え、R6は公立1施設で実施）
- ▶病児・病後児対応型保育（新規2施設）

④子育て環境の整備

- ▶こどものえがお条例（地域全体で子育てを応援）
- ▶病児・緊急時の子ども預かり
- ▶放課後児童クラブの運営拡大（H29:69クラブ⇒R6:97クラブ）
- ▶子育て支援アプリの機能拡充（R6.5検診予約・妊娠届出のオンライン化）**県内初**
- ▶こども家庭センターの前倒し設置（子ども、妊産婦、子育て世帯の総合相談窓口）
- ▶こども医療確保

小児科2カ所の新設支援、夜間休日急病センターに休日小児科開設、オンライン診療、適正受診の啓発

- ▶子育て世帯・ヤングケアラー訪問支援 ▶子ども食堂運営支援
- ▶遊び場づくりと情報提供（ふくしま圏域公式LINE「あそびばみつけ」開設）
- ▶新婚・子育て世帯向け住宅の提供（ふくしま☆スタイル住宅、まちなか公営住宅等）



- 【えがお条例基本理念】
- ①1人の人間として尊重
 - ②自己肯定感が育まれる
 - ③社会生活能力の習得
 - ④個性や可能性を伸ばす
 - ⑤地域社会の連携協力



特色ある幼児教育・保育

放課後児童クラブ待機児童数

R5.5.1 **3人(▲86)**

H30.5.1 89人(ピーク時)

2 子育てと教育で選ばれるまちづくり

(1) 子育て支援の充実

⑤待機児童解消の取組 ～官民連携の待機児童対策推進パッケージ～

I 保育の受け皿の拡大

- ・保育定員 **1,025人増** (H30.1⇒R5.4)
- ・AI活用による入所実現 (R5.4実績:**79人**)
- ・企業主導型保育施設 **6施設301人増** (H30.1⇒R5.4)
- ・幼稚園送迎ステーション (R5:2カ所に増設、利用時間拡充)
- ・私立幼稚園預かり保育支援 (R5.3利用**696人**、R6:8⇒**9施設に拡大**)
- ・保育アテンダント (入所マッチング専任相談員2名配置)
- ・私立保育所施設の改築支援 (R6:2施設10名増)

II 保育士の確保

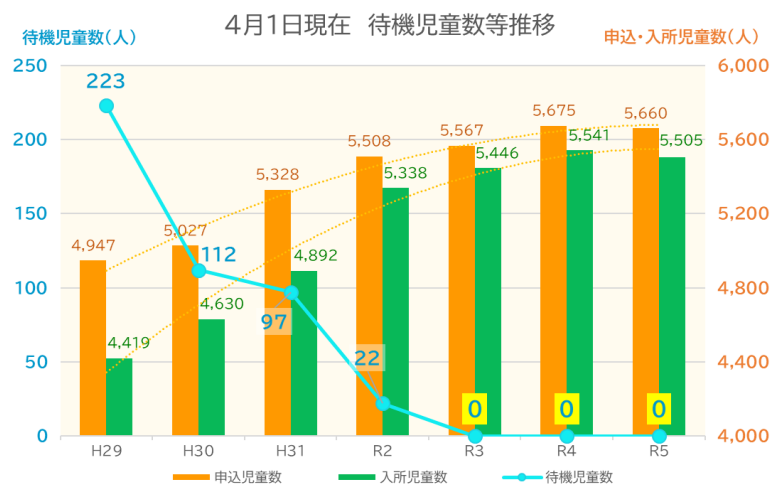
- ・保育士雇用 **458人増** (H30.4⇒R5.4) ※認可保育施設
- ・保育士等奨学資金貸付 (R4:**67人** 無利子・返還減免)
- ・保育士するなら福島市！プロモーション
- ・保育人材バンク、潜在保育士の就労支援 (R4:**就労64人**)
- ・UIターン保育士就労支援 (R4:**就労7人**)
- ・保育士宿舍借上げ支援 (R4:**22施設**)
- ・保育士等の処遇改善

III 保育の質の確保

- ・保育の質ガイドラインによる研修会 (子どもの視点に立った保育)
- ・保育支援員雇用支援 (R6:**44施設**)
- ・ICTを活用した保育業務支援システムの運用

待機児童 **3年連続 0!!**

対H29 **△223人**



保育士プロモーション動画

2 子育てと教育で選ばれるまちづくり

(2) 教育の充実

ICTを活用した学びの充実、読解力の向上と図書の充実、**学校施設の改修**加速、不登校児童生徒の支援など、子どもたちの健やかな成長と質の高い学びを支えます。

① 学校教育の質の向上

- ▶ **福島型オンライン授業** ～生徒・指導員1人1台端末の日常的な授業での活用
全市一斉オンライン授業、ふくしまっ子未来トーク、市電子図書館のID配付、デジタル教科書、学校図書館のICT化
- ▶ **福島型個性をのばす教育**
著名人・地元企業と連携したスポーツ・文化芸術の教育。部活動の地域移行と連動
- ▶ **部活動指導体制整備**（指導員配置拡充、中学校部活動の段階的地域移行）
- ▶ **中学生ドリームアップ**（職場体験などキャリア教育）
- ▶ **中高生の海外チャレンジ応援**
- ▶ **読解力向上推進、学力向上サポート**（学習支援員配置）
- ▶ **教職員の働き方改革推進**



個性をのばす教育

② 学びの環境の充実

- ▶ **本市初の義務教育学校の開設**（松陵中学校改築、R7開校予定）
- ▶ **中央地区の小学校再編**（先導的な教育モデルや不登校支援の充実も検討）
- ▶ **学校施設リフレッシュ、バリアフリー化**
外壁・屋上の改修・長寿命化を加速。トイレのバリアフリー化、二小にエレベーター設置
- ▶ **公立夜間中学「天神スクール」開校**（R6.4）**県内初**
- ▶ **新学校給食センター整備**（PFI方式での整備に着手、R8供用開始予定）
- ▶ **いじめ・不登校対応推進**（R5.6条例改正、支援教員R3:5校⇒R4～:8校）



夜間中学「天神スクール」

3 高齢者や障がい者、誰もが健康で元気に暮らせるまちづくり

(1) 健都ふくしまの創造、地域医療の充実

市民総ぐるみの健康づくりを推進するとともに、高齢者の生きがいづくりや社会参加を支援します。救急医療、医師確保対策など、医大や市医師会・医療機関と連携し、**地域医療体制の充実**を図ります。

① 健都ふくしまの創造 ～個人、地域、職場の健康づくり

- ▶ 福島らしい健康づくり（健脚文化、ヘルスリテラシー向上、ICT活用、適しお等）
- ▶ 特定健康診査、がん検診の推進

② 高齢者の元気増進

- ▶ 介護人材確保パッケージ

元気高齢者の介護職参入支援、資格取得支援、研修会拡充、介護職PR動画

- ▶ 高齢者の足の確保支援（シルバーパスポート見直し⇒タクシー利用の新制度検討、小さな交通の拡大）
- ▶ 定期予防接種の自己負担を3割に軽減（新型コロナ、インフルエンザ、肺炎球菌）
- ▶ シルバー人材センター活動支援（ICT利活用の促進、有償ボランティア事業の創設など）

③ 地域医療の充実

I 救急医療体制の充実

- ・ 休日夜間輪番制救急医療の体制確保（土曜日の午前も輪番体制）
- ・ **デジタルを活用した救急医療の強化**

12誘導心電図伝送装置、映像伝送システムLIVE119、マイナカード活用救急の実証実験(R6.9)

- ・ 医大と連携した救急医療の基盤強化

II 地域医療体制の充実

- ・ **こども医療確保対策**（小児科開設支援、休日の小児科開設・オンライン診療、適正受診の啓発）
- ・ **高齢者施設の休日・夜間オンライン診療**（R6.4～7試行）
- ・ 夜間休日急病センターの運営
- ・ 休日在宅当番医制運営
- ・ 医師確保、臨床研修支援等



映像伝送システムLIVE119



高齢者
オンライン診療

3 高齢者や障がい者、誰もが健康で元気に暮らせるまちづくり

(2) 共生社会の推進

ハード・ソフト・心のバリアフリーを推進し、外国人や動物にもやさしいまちづくりに取り組み、五輪レガシーとして、子ども、高齢者、障がい者など誰もが安心して暮らせる**共生社会の実現**を目指します。

①バリアフリーの推進 ～バリアフリーマスタープラン策定(R3.6) 県内初

バリアフリー推進パッケージ

- ・ヘルプマーク普及推進
- ・南福島駅エレベーター設置 (R5.3)
- ・いきいき！ふくしまマーケット (福祉施設製品をふくしま圏域内企業と商談会)
- ・ポッチャ普及推進
- ・歩道点字ブロック設置
- ・心のバリアフリー推進強化
- ・バリアフリー推進パートナーミーティング (R元:263団体⇒R6.2:304団体)

▶**パートナーシップ制度導入** (R6.2審議会答申 R6導入)



JR南福島駅バリアフリー化

②障がい児・者福祉の推進

- ▶**ワンストップの相談支援センター** (全ての障がい種別に対応可能とし、6カ所に拡充)
- ▶障がい者雇用促進企業認証事業 (H29:5社⇒R5:18社)、**ゴールド認証**(R5:5社)

③多文化共生の推進 ～外国人との共生で地域活力・労働力へ

- ▶多文化共生センター「**Yuiverse(ユイバース)**」運営 (R5.9気軽に立寄る交流拠点)
- ▶**結・ゆい・フェスタ** (5/3開催へ。過去最多出店) ▶**台湾地震の支援募金**
- ▶日本語サポート (教員免許を持つ日本語指導コーディネーターを配置)
- ▶ベトナムとの交流事業 (東京2020大会のホストタウン)

多文化共生センター
Yuiverse



④動物との共生

- ▶動物愛護推進 (不妊支援、しつけ方教室、譲渡時のマイクロチップ装着・感染症等検査)
- ▶ペット同伴避難所の体制整備 (R4.3獣医師会との連携協定締結)

4 将来にわたり持続可能な産業の振興

(1) 農林業の振興

農林業振興基金を活用して施策を大幅拡充し、次世代を見据えた**持続可能な農業**を促進します。果実プロモーションの展開等により、**販売拡大**と**ブランド力向上**を図ります。

① 農業の振興 ～太陽光発電事業寄付金による基金を活用

次世代型農業の推進

- ・**気候変動適応型農業支援**（渇水・高温対策の自動灌水装置等）
- ・**スマート農業実装支援**（作業効率化・生産性向上のスマート農機具・システム導入）
- ・**脱炭素設備導入支援**（農家事業用の太陽光発電システム導入助成）
- ・**脱炭素・循環型農業支援**（**先導的な循環型モデル事業**、園芸施設エネルギー転換、剪定枝の利活用）
- ・**カジュワーク** ・**収入保険加入の促進**（R7まで特別対策）
- ▶**提案型の地域課題解決事業**（地域農業団体の取組を支援）
- ▶**新規就農支援パッケージ** ▶**樹園地の継承** ▶**人・農地プラン策定**
- ▶**鳥獣被害対策、ツキノワグマ被害特別対策**
- ▶**福島地方卸売市場の再整備推進**



カジュワーク職員制度

② 販売拡大・ブランド力向上

- ▶**「ゆうやけベリー」ブランド確立**
- ▶**F-BOX活用**（詰め合わせ商品ブランド化）
- ▶**果実等プロモーション**
 - 重点消費地や交流都市へのトップセールス、ピーチ&アップルホリデイの展開
- ▶**軽トラ市の開催**（駅前・Web軽トラ市）
- ▶**食品加工の産業化、新商品・新品種の開発促進**



ゆうやけベリー



F-BOX
贈答用

4 将来にわたり持続可能な産業の振興

(2) 商工業の振興

地元企業のチャレンジや事業承継を支援し、企業誘致や新規創業の促進を強化して魅力ある**企業・産業の集積**を高め、新たな取組が生み出される**創造的な経済体質**への転換を図ります。

① 地場企業の振興

- ▶ **新製品・新技術開発支援**（開発期間を複数年に拡大）
- ▶ **ものづくり企業応援**（市内企業開発製品の認知度向上や販路拡大を応援）
- ▶ **凍み豆腐事業継承推進**（温暖化適応の製法を福大と共同研究）
- ▶ **次世代後継者育成「夢創塾」**（R5参加業種拡大）
- ▶ **圏域9ビジネスマッチング** ▶ **中小企業ゼロカーボン資金融資**



クリエイティブビジネスサロン

② 新規創業支援

- ▶ **街なか創業ゾーンの形成**（都市型産業の集積）
- ▶ **クリエイティブビジネスサロン運営** ～新たな働き方の促進
- ▶ **起業女子応援パッケージ** ▶ **創業応援利子補給パッケージ**
- ▶ **若者創業支援トップセールス**（学生を対象とした創業促進）
- ▶ **大学や誘致企業と連携した研究開発、新産業の創業支援**

企業誘致
H30～R5 19社

③ 企業誘致の促進

- ▶ **福島おおぞそうインター工業団地第2期整備**（R6年度末募集開始予定）
- ▶ **企業誘致支援の拡充と追加投資の促進**（R6.3条例改正）
- ▶ 「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援（本社・支社機能の誘致推進、ゆとり満喫エールパスポート）
- ▶ **企業誘致トップセールス、セミナー**
- ▶ **産業用地確保基礎調査**（企業立地の動向等を調査し新たな産業用地の規模・候補地を検討）



おおぞそうインター工業団地

5 賑わいと文化・スポーツの振興

(1) 街なかの活性化

駅東口再開発事業を支援し、連携して**交流・集客拠点施設**を整備するほか、耐震性の弱い**公共施設の再編整備**を進めます。**店舗・人の集積**を促し、多様な仕掛けで**賑わい創出**や交流人口の増加を図ります。

① 中心市街地のまちづくり ～風格ある県都を目指すまちづくり構想～

▶ 東口再開発事業 ～交流・集客拠点施設整備

相次ぐ資材高騰で事業計画の抜本的な見直しが必要

▶▶ 賑わい・文化・つながりを生み出す「FUKUSHIMA EGG」をコンセプトに賑わいの好循環へ

▶ 駅東西一体のまちづくり

西口大型商業施設撤退を機に、まちづくり検討会を立ち上げ跡地利用の方針整理
市民共創で将来を見据えた駅周辺の姿を描く

▶▶ 「人が住む・働き学ぶ・集まる・流れる」の4要素を一体的に取り組み、街なかの体質改善



東口再開発事業
イメージ案



② 公共施設の再編整備

(仮称)市民センター整備 ～多用途活動拠点となる『複合市民施設』(R7.2オープン予定)

中央学習センター・市民会館等を統合・複合化

併せて各学習センターの利用申込方法改善を検討

・市民交流機能 ・議会機能(一部市民開放) ・防災機能

▶ 清水支所の建替 (R6.2開所 本市初のニアリーZEBに対応)

▶ 未利用公有財産の利活用

提案型民間活力導入制度を創設。旧大久保小学校の利活用を実施(R5)

▶ 三河台学習センターリニューアル、飯野学習センター移転・支所複合化 (R5)



(仮称)市民センターイメージ

5 賑わいと文化・スポーツの振興

(1) 街なかの活性化

③街なかの賑わい創出

街なか出店の促進

- ・**新規出店の内外装工事等補助**（対象エリア拡大、規模の大きい出店を誘導）
- ・街なか出店家賃補助（アパレル産業等の支援を手厚く）
- ・**街なか店舗等整備支援**（都市機能集積施設の整備支援）
- ・不動産投資研究会（R5.2立ち上げ）

人が集まる仕掛け

- ・拠点施設の整備

まちなか広場、街なか交流館、西口エールビジョン、駅前地下歩道階段アートデザイン、ストリートピアノ

- ・**街なか居住促進**（新婚・子育て世帯に街なか市営住宅を提供、**入居要件緩和**(R6.4)）
- ・ほこみち社会実験（日常的な憩い・賑わいの空間づくり）

イベント等による賑わい創出

- ・商店街等活性化イベント支援

春季・複数日開催を手厚くし、年間を通じて切れ目のない賑わいづくり

- ・**街なかテーマパーク**（5/5開催へ。街なか全体で子どもたちをおもてなし）
- ・学生等のまちづくり活動支援
- ・街なか賑わい創出プロジェクト（情報サイトでイベントの共有と連携）

回遊を促す仕掛け

- ・赤・青メロディバス
- ・ももりんシェアサイクル
- ・パークアンドライド

④交通ネットワークの充実

- ▶国道13号福島西道路（南伸はR8年度末開通見通し。北伸を要望）

街なか出店 R2以降 **115**件



街なか新規出店



ふくしま☆スタイル市営住宅整備



街なかテーマパーク

街なかの新しい動き



①クリエイティブビジネスサロン



②駅前地下歩道ストリートピアノ階段アート、新・街なか交流館



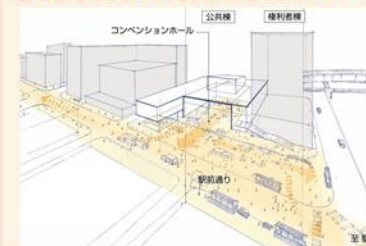
③歩行者天国定期化(軽トラ市)



④新まちなか広場整備



⑤福島駅東口再開発事業(イメージ)



⑩古関裕而記念館リニューアル



⑩消防本部・福島消防署(イメージ)



⑨(仮称)市民センター整備



⑧県庁通りアーケード改修



⑦県立医大保健科学部開設ほか、大原綜合病院・福島赤十字病院移転新築

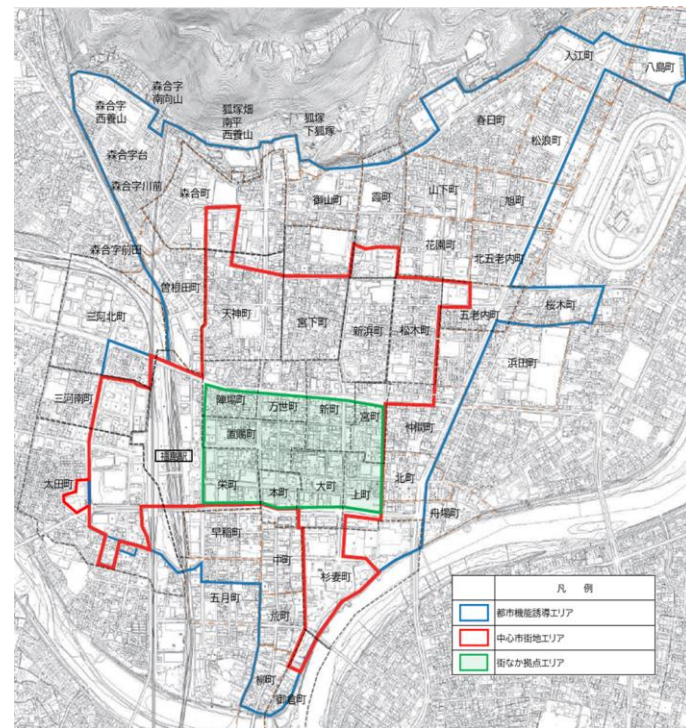
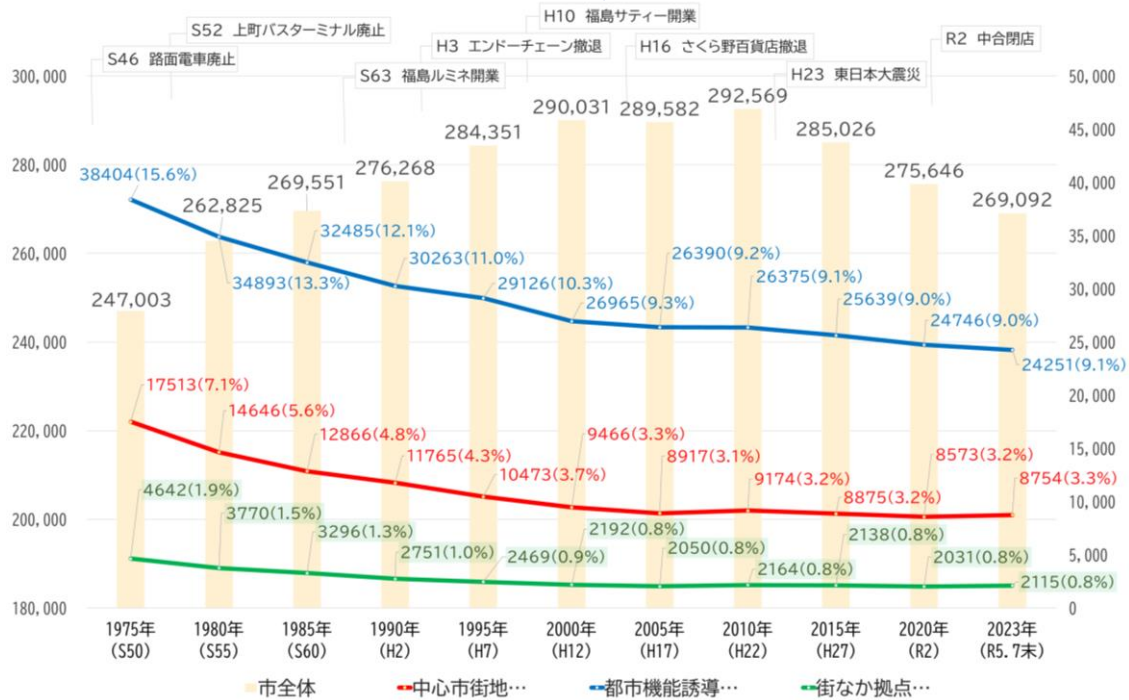


⑦パセオ通りバリアフリー化



中心市街地の人口・事業所の推移

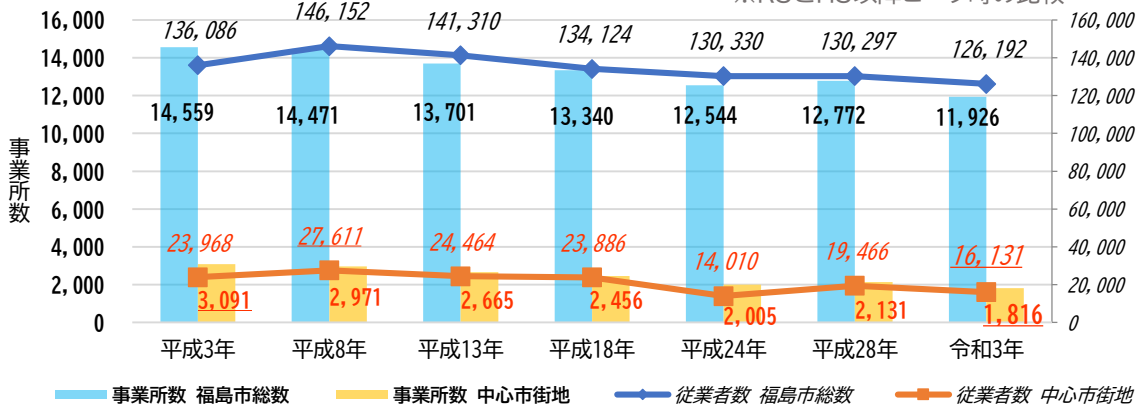
【中心市街地と全市の人口推移】



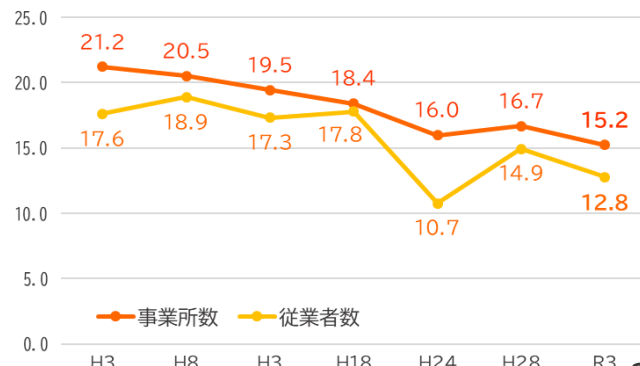
【事業所数及び従業者数の推移】

中心市街地：事業所▲1,275 従業者▲11,480

※R3とH3以降ピーク時の比較



＜総数に占める中心市街地エリアの割合＞



5 賑わいと文化・スポーツの振興

(2) 観光対策の強化

道の駅ふくしまの運営や、花観光・ロケツーリズムなどの**テーマ観光**を推進し、いかに**市外から人を呼び集めるか**を意識しながら本市へのさらなる誘客を図ります。

①福島らしい観光

テーマ観光の推進

I 花観光

- ・ふくしま花回廊（通年の花観光）
- ・**信夫山公園開園150周年事業**（官民連携でのイベント開催）

II あづま山麓エリア観光

- ・吾妻五葉松ツーリズム
- ・**蔵元ツーリズム**（市内5蔵元が集まる「ふく酒街道」周遊）
- ・土木遺産群インフラツーリズム
- ・四季の里整備

III ふくしまの空観光 ～空にまつわる観光コンテンツ

- ・ふくしまスカイパークの活用促進
- ・UFOの里づくり（ユニークなコンテンツを全市的に推進）
- ▶「ふくしまステイ。」観光プロモーション
- ▶ロケツーリズム推進（ロケ誘致と観光への活用。ロケ実績 R元:1件⇒**R5:33件**）
- ▶ふくしま花火大会、わらじまつり

有料観覧席を拡大し、テーブル席を新設。市外誘客を促進

- ▶東北絆まつり（R6.6仙台開催、R7大阪万博出演）
- ▶インバウンド誘客（海外観光プロモーション、プロモーション動画活用）

R5観光客入込数**828万人** 過去最高!!



UFOフェスティバル



わらじまつり

5 賑わいと文化・スポーツの振興

(2) 観光対策の強化

②道の駅ふくしま

「実・湧・満・彩 福島市」の地域振興拠点 ～集客交流、情報発信、産業振興～

- ▶福島を象徴 : 古関裕而のまちらしい外観、県産材を豊富に使用、吾妻連峰の眺望
- ▶魅力を詰込む : 旬のフルーツ「くだものの宝石箱」、地元野菜、県産物のフードメニュー、日本酒
- ▶誰もが楽しめる: 高齢者・障がい者に優しいバリアフリー
子育て家庭やペット連れの方も
- ▶回遊の仕掛け : 独自アプリや電動付きレンタサイクルで
観光果樹園や温泉、広域の名所へ周遊
- ▶防災・環境意識 : 広域防災拠点の機能、電力の地産地消
- ・世界王者エアレーサー室屋義秀氏の練習飛行
- ・東北道利用者も「寄り道」可能な道の駅 (R6.3～)
- ・周遊スポット魅力アップ (R5来訪者の市内周遊を促進)



来場者
340万人
突破!



道の駅ふくしま

③温泉地活性化 ～ふくしま三名湯ブランディング～

▶ふくしまサステナブルおもてなし宣言 (R5.12 SDGsの取組を推進)

「飯坂温泉」

レトロな街並み
熱さ番付



国有形文化財…

旧採進堂酒店(R1)、十綱橋(R2)、
旧堀切家住宅(R2)

※斎正機氏絵画展示

「土湯温泉」

こけし エビ養殖
熱利用発電



都市再生整備…

公衆浴場「中之湯」(H30)
観光交流センター「湯愛舞台」(R1)
まちおこしセンター「湯楽座」(R1)

「高湯温泉」

乳白色の硫黄泉
源泉かけ流し宣言



じゃらん

人気温泉地ランキング 第1位
2024版 満足度総合部門
満足度94.4%

5 賑わいと文化・スポーツの振興

(3) 古関裕而のまちづくり、歴史・文化と調和したまちづくり

連続テレビ小説「エール」や野球殿堂入りのレガシーを活用し、古関裕而のまちづくりを推進します。本市の歴史と文化を活かした特色ある事業を展開し、福島らしい文化の振興を図ります。

①古関裕而のまちづくり ～朝ドラ「エール」のレガシー活用

▶第2回古関裕而作曲コンクール (R6.6本選)

▶チェンバー・オーケストラの活動支援

▶野球殿堂入りレガシー

全早慶野球戦(R5.11)、古関裕而杯中学女子軟式野球大会(R6.4)

▶まちなか音楽祭2024 ▶古関裕而記念音楽祭

▶古関裕而メロディ体感の仕掛け

赤・青メロディーバス、メロディーボックス、デザインマンホール、パセオ通りカリヨン時計塔など

▶エールレガシー事業 (ロケ地に加え、自然・温泉・フルーツ等の魅力を継続発信)

②歴史・文化の調和したまちづくり

I 福島らしい文化の振興

・文化振興条例の制定 (R5) ・文化振興計画の策定 (R6)

・文化施設の保存活用 (旧広瀬座の再整備(R7完成予定)、民家園や写真美術館の活用)

・斎正機氏の絵画展示

寄贈10点を旧堀切邸やクリエイティブビジネスサロンなど市内4施設で常設展示

・アートストリートふくしま

II 縄文文化の保存と活用

・「鎮兵」木簡の保存活用 **全国初出土** (レプリカ展示、木簡2点目出土)

・じょーもぴあ宮畑の活用推進 ・和台遺跡整備 ・しゃがむ土偶ドキドキ事業



中学女子
軟式野球大会



メロディーバス



旧広瀬座



じょーもぴあ宮畑 25



しゃがむ土偶

5 賑わいと文化・スポーツの振興

(4) スポーツのまちづくり、シティセールス

東京2020大会開催のレガシーを活用した事業を展開し、スポーツのまちづくりを推進します。本市のまちづくりを効果的に発信し、ファン拡大と関係人口の増加を目指します。

① スポーツのまちづくり ～五輪レガシー

▶ ふくしまシティハーフマラソン2024

オール福島のおもてなし、4,000人超のランナーが街なかを疾走

▶ スポーツコミッション運営

スポーツ大会・合宿の誘致と支援、大相撲荒汐部屋合宿(R6.6)

▶ パラスポーツの振興

▶ スポーツ施設の改修



ふくしまシティハーフマラソン

② シティセールスの推進 ～ファン拡大と関係人口増加

▶ ふるさと納税

まちづくり賛同型の展開、活用事例の発信、独自色の強い返礼品など、本市ファン拡大

▶ ふくしまMICEパッケージ

企業・学会等の大規模会議誘致と開催費補助
エクスカージョン支援や特色ある施設・土産品

▶ 納豆のまち福島ブランド化

▶ 首都圏の関係人口創出

「福島市ゆかりの会」・「東京ふくしま笑而会」設立(R3)

東京福島市のつどい開催 ～故郷とのつながり支援

▶ 大波三兄弟を「実・湧・満・彩 ふくしまエール大使」に任命 (R4)



荒浪部屋合宿



納豆料理コンテスト



6 デジタル都市の形成と地域経営のリノベーション

(1) デジタル都市の形成

高齢者にもやさしいデジタル化を進めるとともに、行政のDXを推進し、市民生活と地域社会の全体にわたってデジタル化の浸透を図ります。

合意形成と推進体制

ふくしまデジタル推進協議会(R4.7)
デジタル都市宣言(R4.11)
福島市DX推進本部(R6.4)

① 高齢者にもやさしいデジタル化

- ▶デジタルサポートデスク（6支所を追加し8カ所開設）
- ▶シルバー人材センターICT班活動支援（22名）
- ▶シニアICTサポーターの育成（63名） ▶スマホハンドブック作成（R6.3）
- ▶市民相互の学び合い（デジタルクラブ(4クラブ設立)、世代間デジタル交流）

② 地域社会・経済のデジタル化

- ▶デジタル人材バンク（R4.12～マッチング8件成立）
- ▶電子入札の対象拡大、デジタルくーぽん、電子図書館、電子町内会(40町会)
- ▶都市計画情報の3Dデータ化

③ 牽引エンジンとしての行政のデジタル化

I 市民サービスの向上

- ・行政手続きのオンライン化（マイナポータルでの申請手続き拡充 27⇒196種類）
- ・公共施設予約システム（スポーツ・文化等36施設 キャッシュレス決済 **東北初**）
- ・市公式LINEで情報発信・イベント予約等（登録約75,000人） ・こむこむ館デジタルコンテンツ
- ・市ホームページのリニューアル ・母子保健スマート窓口（オンライン予約・届出）

II 行政の高度化・効率化

- ・文書生成AIの導入
- ・業務システム内製化の推進（H30～システム化80件以上。他自治体へ提供し効果波及）
- ・答弁検討システムの商品化（民間連携で開発し、自治体ビジネス収入(5団体導入)）

【マイナンバーカード】R6.3月末
・保有率 74.2%（全国73.5%）
・交付率 79.9%（全国78.7%）



世代間デジタル交流

6 デジタル都市の形成と地域経営のリノベーション

(2) 地域経営のリノベーション

市民・事業者とのコミュニケーションを図り、**共創**と連携によるまちづくりに取り組みます。
持続的発展に向け、**多様な連携**や**広域的な取組**を推進します。

①共創によるまちづくり

▶**地域おこし協力隊**（6名のうち女性4名、2地区拡大予定）

▶**こくりナビ**（登録183名）※R6.4月現在

学生・若手社員と市事業や地域とをマッチング、若者のまちづくりへの参画

▶**地域コミュニティ活動支援**

地域の裁量で用途を決定できる補助枠を新設、主体的活動を支援

▶**公民こねくと** ～公民連携のワンストップ窓口

民間事業者等からの取組提案や相談、民民連携の橋渡し、市からの提案で地域課題解決
高齢者施設の休日・夜間オンライン診療(R6.4～7試行)

②持続可能な行財政経営

▶**新総合計画の策定**（R8始期の計画策定に着手）

▶**システム標準化とガバメントクラウドへの移行**（20の基幹業務を順次移行）

▶**都市間交流**

荒川区:酒造り交流、共同森林整備、本市農産物の商品開発、観光連携協定。友好都市

豊橋市:手筒花火披露、本市産くだもの販売。パートナーシティ協定締結(R5.2.9)

▶**ふくしま田園中枢都市圏** ～広域的発展

水道施設運転管理業務の共同発注、障がい者施設製品の商談会、

公式LINE「あそびばみつけ」開設、移住定住、ビジネス創出、観光周遊など各分野で連携

▶**産学官連携プラットフォームの推進**（若者の地元定着や人材育成等の地域課題解決）

【地域おこし協力隊任命】
R6.4…松川
R5.4…吾妻、土湯
R4 …飯坂、飯野、大波



地域おこし協力隊



豊橋手筒花火



あそびばみつけ

7 ゼロカーボンの推進

(1) 再生可能エネルギー活用・省エネ化の推進

豊かな環境を未来に引き継ぐため、福島らしい**地域共生型**の再生可能エネルギーの活用を推進します。エネルギー価格の高騰や多発する災害への対応も踏まえ、**ゼロカーボン**の取組を加速します。

脱炭素計画目標前倒し

2030年度CO₂削減:30%⇒**55%**

①事業者・家庭向け支援

- ▶小水力発電促進
- ▶水素活用の普及

FCV購入への市独自補助、普及啓発イベント、民間定置式水素ステーション開設(R5.3)

- ▶ゼロカーボンパーク登録 (R5.8土湯・高湯温泉地が先行して脱炭素化に取り組む) **東北初**
- ▶脱炭素生活スタイルの普及啓発、脱炭素住宅整備促進
- ▶中小企業ゼロカーボン資金融資

②公共施設での活用推進

- ▶公共施設等への太陽光発電導入
- ▶(仮称)市民センターへの太陽光発電・水素発電設備の設置
- ▶**新清水支所の本市初ニアリーZEB認証** (R6.2開所)

太陽光発電、蓄電池を設置。今後整備予定の公共施設でもZEB認証を目指す。

- ▶こむこむ館の屋根改修 (アルミ製で冷暖房費を削減)
- ▶公共施設や街路灯・道路照明のLED化
- ▶市主催イベントでのゼロカーボンの取組推進
- ▶公用車のエコ化

R6:EV4台・HV2台購入、急速充電設備4基設置(クリーンセンターのバイオマス発電を利用)

ノーモアメガソーラー宣言

- ・山地への新規大規模太陽光発電を望まない
- ・地域共生型の再生可能エネルギーを推進

市民と連携し、強く働きかけ



ニアリーZEBの新清水支所

7 ゼロカーボンの推進

(2) 森林整備・木材利活用の推進、ごみ減量化の推進

二酸化炭素の吸収源である森林の整備と普及啓発、併せて、木材利用を促進します。
市民が快適な生活を営み続けられるよう、持続可能な**循環型社会**の構築を目指します。

①森林整備・木材利活用の推進

▶森林の適切な経営管理の推進

▶ふくしま森林再生事業、林道整備

間伐や下草刈、路網整備を一体的に実施

▶森林環境学習（小学生を対象とした体験・観察学習）

▶**荒川区との「あらかわの森」共同森林整備**（R4～）

▶公共施設の木材活用

・清水支所:県産材を使用した木造　・旧広瀬座:木造のトイレ棟を新たに整備(R7完成予定)

・(仮称)もりあい認定こども園:木造平屋(R8.4開園予定)

▶**建築物木材利用促進協定**（R6.5）

事業者の新築社屋に市産材・県産材を積極的に活用。PRや情報発信で木材利用を促進。



「あらかわの森」共同整備



木材活用
(ももRabiキッズパーク)

②ごみ減量化の推進

▶ごみ減量化・資源化の促進

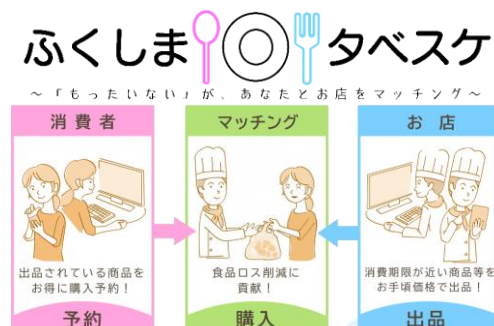
生活系ごみ1人1日530g以下を目標

雑紙等分別強化、生ごみ減量化、分別アプリでのリサイクル、食品ロス削減

▶**フードシェアリングサービス「ふくしまタベスケ」**（R5.9）

売れ残りを防ぎたい食料品店と、食品ロスに貢献したい市民をマッチング

・登録21店舗　・マッチング1,712件　・食品ロス削減約670kg ※R6.3末



8 移住定住の促進、女性活躍社会の形成

(1) 移住定住の促進

交通アクセスの良い本市へのオフィス移転や家族を含めた**移住・定住支援**を強化します。
婚姻数が年々減少しており、結婚へ踏み出せる環境整備と**若者・子育て世帯の定住促進**を図ります。

① 移住の積極的推進

▶ワンストップ相談窓口 ▶移住コーディネーター配置

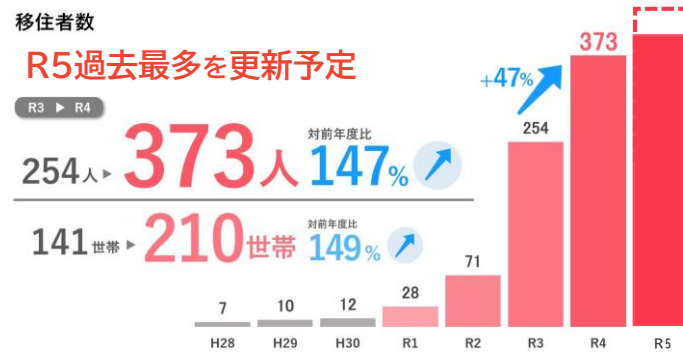
▶ふくしま定住促進

首都圏での移住フェア & **本市単独出張相談**、ハンドブック刷新
おためし移住体験(プレ移住サポート、宿泊費補助)

▶広報推進 (移住応援サイト、WEB広告)

▶移住新生活応援 (引越費用補助、お湯めぐりパスポートを贈呈 ~福島三名湯3年間入浴料無料!)

▶UIターン移住支援 ▶移住者の空家リフォーム補助 ▶年末年始臨時相談窓口 (駅西口)



② 結婚・定住しやすい環境整備

▶出会いの場創出

▶結婚新生活応援 (R5活用実績:**376世帯**)

▶わかもの住まい支援 (民間賃貸住宅を活用し、新婚・子育て世帯の家賃支援)

▶子育て・若者世帯向け市営住宅の入居要件緩和 (R6.4)

▶**ふくしま☆スタイル住宅整備** ~住んで良かったと実感できる魅力ある市営住宅。省エネ性能にも配慮

・新築住宅... 1Fは高齢者向け、2Fは若者・子育て世帯向けの地域優良賃貸住宅

・DIY住宅... 入居者が自由にアレンジ

・リノベーション住宅... 女性に人気の高いインテリアブランドの家具・雑貨を設置しリノベーション

▶移住者同士や地域との交流 (わらじまつりや芋煮会の体験)

ふくしま☆スタイル
リノベーション住宅



8 移住定住の促進、女性活躍社会の形成

(2) 女性活躍社会の形成

市が率先垂範し**社会的な意識改革**を促しながら、**女性が活躍しやすい環境**づくりに取り組みます。

①ふくしま起業女子応援パッケージ ～起業した先輩たちが姉妹のように伴走型で支援～

女性の起業チャレンジ講座、起業相談「姉妹カフェ」、プチインターンシップ、お試しワンデー起業

②女性活躍のための施策

- ▶働く女性応援企業認証 (H29:24社⇒R5:90社)、ゴールド認証 (R5:9社 5年以上継続)
- ▶ジェンダー平等の推進 (公共施設・公立中学校のトイレに生理用品配置。公共3施設⇒R6:20施設)
- ▶「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」に参加(R5.2)
- ▶ひとり親家庭の資格取得支援、男女共同参画の啓発
- ▶経済界への女性雇用環境等の改善要請

③女性の社会的地位向上への取組

▶女性市職員の積極的登用

特別職 H29: 0人(0.0%) ⇒ R6: 1人(20.0%)

管理職 // :10人(5.9%) ⇒ // :22人(12.4%)

消防吏員 // : 2人(0.8%) ⇒ // :10人 (3.3%)

▶審議会等の女性比率 H29:29.1% ⇒ R5:38.3%(法定外含め43.5%)

▶自治振興協議会の女性参加率 H29:13.3% ⇒ R5:39.3%

②男性の育児参加促進

▶子育て2020(フレフレ)プログラム(男性の育児休業取得推進)

男性職員育児休業取得率 H29:6.3% ⇒ R5:64.7%

▶子育てエールメッセージ、子育てエールデー

▶市長自ら「イクボス」宣言 ・「おとう飯」サポーター就任

行動宣言

輝く女性の活躍を加速する
男性リーダーの会



働く女性応援企業ゴールド認証



子育てエールメッセージ

◆ 物価高騰対策

○ 物価高騰対策

原油価格上昇や円安による物価高騰の影響を受ける**市民生活と地域経済を支援**します。

① 市民生活支援、事業者支援

▶ 生活支援特別給付金

低所得世帯の生活支援のため特別給付金を給付
給付可能な世帯から随時給付し早期給付を目指す

▶ 選択型エールクーポン

紙の値引き型クーポン、または、デジタルクーポン「福デジくん」を選べるエールクーポンを発行
サポートデスクを拡充して手続きを支援。
デジタル化を浸透。

□ 利用期間／R6.3.8～5.31

▶ 福島型給食推進事業の継続

給食費負担軽減1/3(R4.7)⇒材料高騰分の4割支援(R5.5)。給食の質と量を継続的に確保

▶ 子ども食堂運営支援（フードドライブ活動を促進し、子育て世帯を支援）

② 物価高等に強い体質づくり

▶ 米粉等利用拡大支援

海外情勢の影響を受けやすい小麦粉の代用として米粉等の活用を支援
米使用の商品開発(10万円)から生産・販売(価格差2/3)を支援

▶ ゼロカーボン推進に伴う省エネ化・再生可能エネルギーの活用

市民生活(省エネ住宅)、農業(太陽光発電、化学肥料低減、燃油転換)、商業(省エネ設備導入の融資)

世帯	特別給付金 (1世帯あたり)	こども加算 (児童1人あたり)
①R5年度住民税非課税世帯	70,000円	50,000円
②住民税均等割りのみ課税世帯	100,000円	
③R6年度住民税非課税世帯等 ※①、②を除く	100,000円	

タイプ	内容(1人あたり)
値引き型クーポン	500円値引きクーポン3枚(1,500円分)
デジタルクーポン	① 5,000円購入で6,500円分 ② 10,000円購入で12,500円分



財政状況

令和6～10年度 中期財政収支の見通し

(上段の単位：億円、下段は対前年度伸び率：%)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
歳入合計	1,374 0.7	1,261 △ 8.2	1,327 5.2	1,286 △ 3.1	1,192 △ 7.3	1,076 △ 9.7
市 税	407 0.8	407 0.1	412 1.1	415 0.7	411 △ 0.8	415 1.0
地方交付税・消費税交付金	196 △ 14.3	216 10.1	218 1.0	216 △ 0.6	221 2.1	220 △ 0.6
国・県支出金	401 △ 0.1	299 △ 25.5	351 17.4	334 △ 5.0	297 △ 11.0	277 △ 6.6
基金等繰入金	51 93.0	57 11.5	9 △ 84.0	8 △ 7.6	11 28.6	8 △ 28.8
市 債	128 42.5	161 26.0	186 15.5	163 △ 12.4	143 △ 12.1	64 △ 54.9
その他の収入	191 △ 10.6	122 △ 36.3	151 24.1	150 △ 0.4	109 △ 27.6	92 △ 15.9
歳出合計	1,374 10.1	1,261 △ 8.2	1,327 5.2	1,286 △ 3.1	1,229 △ 4.4	1,135 △ 7.7
義務的経費	555 △ 1.6	582 4.9	593 1.8	612 3.2	614 0.3	633 3.2
人件費	187 △ 1.1	208 11.0	210 1.1	212 0.9	210 △ 0.7	219 4.3
扶助費	270 △ 4.5	274 1.6	279 1.7	284 1.9	289 1.9	295 1.9
公債費	98 6.5	100 2.0	104 3.6	116 11.6	114 △ 1.7	119 4.4
投資的経費	227 41.5	237 4.4	313 32.0	257 △ 18.0	193 △ 24.8	80 △ 58.8
その他の経費	592 12.9	442 △ 25.3	421 △ 4.8	418 △ 0.8	422 1.1	422 △ 0.1
歳入歳出差引額 (財源不足額)	-	-	-	-	△ 37	△ 58

財政調整基金年度末現在高	77	52	-	-	-	-
減債基金年度末現在高	63	83	76	17	-	-
計	140	135	76	17	-	-

※ 令和4年度決算における実質収支のうち35億円を令和5年度に財政調整基金に積み立てることを想定しています。

※ 表示単位未満四捨五入のため、積上げ、差引きが一致しない場合がある。

実質公債費比率	3.1	3.9	4.4	5.4	5.9	6.5
----------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------

※ 地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、市の財政規模に対する割合で表したものです。